

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月21日
更新年月日	令和8年3月25日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	赤穂市 (28212)
地域名 (地域内農業集落名)	西有年横山地区 (西有年横山集落)

### 1 地域における農業の将来の在り方

#### (1) 地域計画の区域の状況

地域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	3.7	ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	2.1	ha
② うち田の面積	1.7	ha
③ うち畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.4	ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.7	ha
⑤ 区域内において今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0	ha
(参考) 区域内における70歳以上の農業者の農地面積の合計	2.2	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	1.7	ha
(備考) ⑤は、赤穂市内で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。		

#### (2) 地域農業の現状と課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域内の農地は一部の果樹園を除き、大半が、自己保全で占められており、また、農業者の高齢化が進んでいる。</li> <li>・地域内農地は、山間部にあるため、日照条件が悪い上、作土も浅い。また、未整備農地であるため、担い手の確保が困難である。</li> <li>・水路、農道、畦畔等の管理をどのようにするかが課題である。</li> <li>・栽培環境が厳しく地域の活性化を図るための新たな作物の導入が困難である。</li> </ul>
--

#### (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・担い手が確保できるまでの間は、一部の農地で栽培されているクリ、カキ、リンゴ等の果樹や保全の農地を農地所有者が管理する。また、担い手が確保後は、市・県と連携して新たな高収益作物の導入や環境に配慮した農地の活用方法について集落全体で検討する。
--

### 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
今後、離農する農家が見込まれるが、担い手が確保できるまでは、地区内農家の相互協力の下、農地を維持管理する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の利用集積率の目標			
現状の集積率	0.0	%	将来の目標とする集積率
			今後を検討する
			%
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積の団地数及び面積は、0箇所、0.0a(令和6年度時点)。			
団地数・面積は、今後を検討する。			

※担い手は、認定農業者、認定新規就農者、集落営農、基本構想水準到達者とする。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためにとるべき必要な措置(必須項目)

(1)農用地の集積・集団化の取組
農地の大半は、作物が作付けされていない自己保全で占めている状況であるため、農業委員・農地利用最適化推進委員の協力の下、地区外から担い手を募り、担い手への農地の集積・集約化を目指す。
(2)農地中間管理機構の活用方法
担い手確保後は、農地は出し手、受け手に関わらず、原則として農地中間管理事業を活用する。また、当面、耕作を継続する農家が営農が困難となった場合にも農地バンク機能を活用して担い手へ貸し付けていくよう、集落全体で検討していく。
(3)基盤整備事業への取組
担い手のニーズを踏まえ、農地整備事業等を活用した農地の大区画化や用排水設備の再整備化等について検討する。また、水利施設等については、土地改良区、受益者等と連携し、計画的な維持管理に努める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
将来的に耕作されない農地の発生に備え、地域内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市、県、JAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合、農業サービス事業者等による農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減化学肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他
①鳥獣被害防止対策の取組方針 鳥獣被害を最小限に抑えるため、防止柵の設置等の対策について、集落全体で検討する。 ⑤果樹等の取組方針 クリ・カキ・リンゴ等果樹の栽培面積を維持するとともに生産性の向上を目指す。 ⑦環境保全、農地の維持管理等の取組方針 地域住民と農家が協力して農村環境、農地を守っていくための協議を継続する。また、農道・用排水路等の維持管理に取り組む。 ⑨耕畜連携 地域内の畜産農家は、家畜排泄由来堆肥を地域内の生産者に供給する仕組みを構築する。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業者	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
サ	A	果樹・自己保全	0.0 ha	3.0 ha	今後検討する				
認農	B	畜産(肥育牛)	0.7 ha	0.0 ha					
計	2経営体		0.7 ha	3.0 ha					

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	A	果樹栽培、自己保安全管理	クリ、カキ、リンゴ
2			
3			
4			
5			

6 目標地図(別添のとおり)

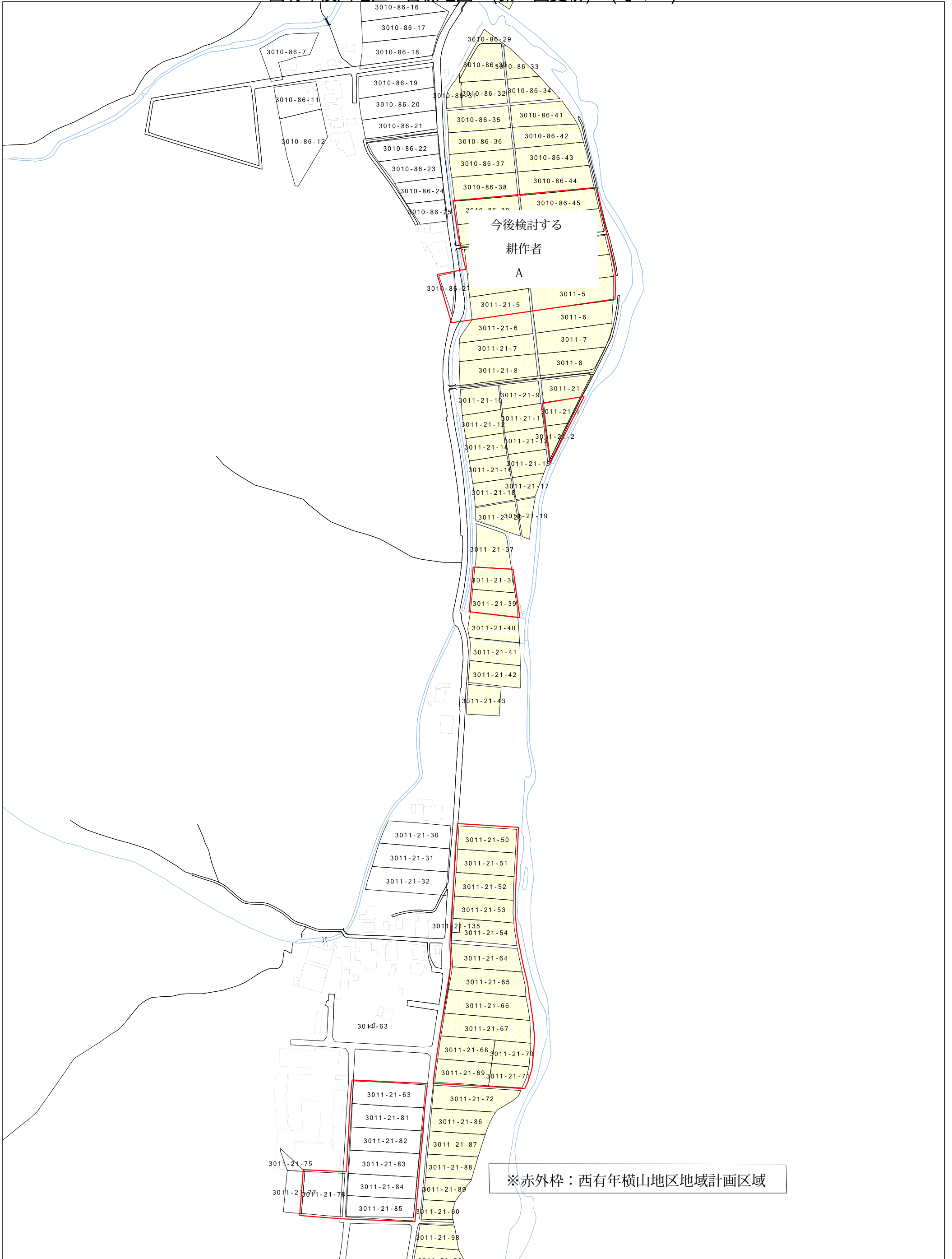
(留意事項)

農業を担う者の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、公表する場合やその他施策のために利用する場合等は、本人の同意を得る等個人情報の取扱いに留意してください。

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(%)	( )%
-------------	--	-------------	------

西有年横山地区 目標地図 (第1回更新) (その1)



※赤外枠：西有年横山地区地域計画区域

